

2025 年度

大学院 商学研究科〔博士課程(前期)〕

第Ⅱ期 入 学 試 験 問 題

# 論 文

◇試 験 時 間…………… 1 0 : 0 0 ～ 1 1 : 0 0

◇解 答 時 間…………… 6 0 分

◇解答はすべて別紙の解答用紙に記入すること。

◇問題は全部で 2 ページある。試験開始後，乱丁・落丁がないか確認すること。

**志願時に選択した主専攻の系列の問題を解答すること。**

「マーケティング系列」は 1 ページ，「租税法系列」は 2 ページに問題があります。

## マーケティング系列

問. 以下の各設問について答えなさい。

- 設問1 顧客満足研究における期待不一致理論について説明しなさい。そのうえで、この理論から導出される企業へのインプリケーションを2つ示しなさい。
- 設問2 ソーシャル・マーケティングにおけるメセナとフィランソロピーの定義と事例を示しなさい。また、こうした活動が企業へもたらすメリットを論じなさい。

## 租税法系列

問. 働き改革をあとおしするためには、税制の改革も必須とされている。たとえば、退職金への課税は、給与収入に対する課税と比べて、税率が半分になるなど、各種の優遇策が設けられている。しかし、退職金で受け取るのではなく、毎月の給料を増やしてもらい、早く、独立開業のための原資を貯めたい人が増えている、この場合、税金の支払いが多くなり、独立の阻害要因となってしまう。そのためには、どのような税制が望ましいのか、あなたの考えを述べなさい。